

昭和52年5月25日 第3種郵便物認可 令和元年7月11日発行（毎月1回10日発行）



世界の円満  
人類の福祉

THE ENPUKU

7月

2019 No.466



世界法民連帯 円福友の会

## 円福友の会入会のすすめ

1食1円のSABA運動で世界の平和に尽くしましょう。

SABAとは、禅寺の僧堂でお食事の前に、七粒ほどのご飯をお膳のすみに取っておき、後で小鳥に施す「生飯(さば)」というお作法のことです。

これを日本の皆さんの1食1円のSABAとして、アジアの貧しい国々の子ども達のために学校建築(教育)や、井戸やトイレの設置(環境衛生向上)を支援する、国際ボランティア資金の運動です。1食1円ならどなたにもできます。塵も積もれば山となるように、皆さんの御協力をお願いする大きな愛の運動です。(この運動は、特定の政党や宗教や思想に関係のない、非営利の国民運動です。)

綴じ込みの郵便振替用紙を使い年会費やSABA運動等の協力金をお送りください。お送りいただいた皆様には毎月『圓福』と『おもいやり』をお送りし、円福友の会の活動と円福寺愛育園の子どもたちの様子をご報告いたします。

## 表紙の写真

二つの小学校の立派な子どもたちを表彰しました。

校長先生から、それぞれの子どもの紹介をしていただき、表彰状を渡してもらいました。

私から、メダルをかけてあげました。

家族へのおもいやり、お掃除、挨拶、勉強などを模範となっていて行っている児童です。

二つの小学校に通う子どもたちがみんな立派になりますように。

## 7月号の内容

にこにこ法話 何処をみるか	1 p
カンボジア支援 小学校訪問	3 p
おっしゃんの修証義解説	12 p
敬愛信	14 p



ある中学校の公開

授業日がありました。

当園の子どもたちが

通っていますので、職

員に参観するように

といたしました。そして、皆さんは何処を

みてきますか、それを私は評価しますよ、

と笑顔で話しました。

私は帰り際に見た

駐輪場を意識してい

ました。自転車がきちんと整理して置か

れていることは、学校が落ち着いている

ことを表しています。

さあ、職員は何処をみて来たでしょう。

ある職員は、トイレをみてきました。

全てのトイレをみて、報告してくれました。

それを聞いて、私は深志に勤めていた

## 何処をみるか

ころに、東京のある高校を視察した時のことを思い出しました。同行してくださった保護者の中に、燕山荘の赤沼健至社長さまがおられました。二月でしたので、雪焼けの真つ黒なお顔で参加してくださいました。昨日まで燕山荘にいましたと話されました。

赤沼社長さまは、

一人で一五年間も毎

日燕山荘のトイレ掃

除をされた方です。昔の山小屋ですから、

とつても臭かったと思います。汚れもひ

どかったと思います。その掃除を続けら

れたのです。今、燕山荘は日本一の山小

屋です。山と溪谷社の毎年のアンケート

で常にトップをキープしています。私は

深志の時に八十二銀行松本営業部の小林

治雄さまと太田英行さまのお導きで赤沼

## ニコニコ法話

社長様にお会いすることができました。トイレ掃除のお話で大いに盛り上がったことは言うまでもありません。

最近になって、小林営業部長が、燕山荘のトイレは本当にきれいだろうか、赤沼社長は本当にお掃除をしているのだろうかと、見つからないように太田さまを派遣したと聞きました。もちろん「本当です」の答えが返ってきたそうです。

何しろ、トイレ掃除によって燕山荘付近に住んでいる熊まで立派になったそうですから、本当に凄いですね。

赤沼社長さんは、その高校のトイレをくまなくみられました。すごいと思いました。帰りの車中でそのことをお話されました。私は深志のトイレと較べてどうですかと聞きました。赤沼社

長さんは「月とスッポンです」と答えてくださいました。

学校や会社の様子を一番よく表しているのはトイレですね。



# カンボジア支援

## 小学校訪問

5月15日の学校訪問の様子を報告します。



プレイクチェイ小学校

学校に着くと、校長先生や子どもたちが  
出迎えてくれました。

手前にあるのは、キムさんに御願ひして現  
地で調達したプレゼントです。



整列した子どもたちの前に並んで、ご挨拶  
です。最初はクメール語で、日本から来まし  
た、皆さんに会えてうれしいです、私を覚え  
ていますか、まで話してあとはキムさんに通



訳してもらいました。子どもたちが新しい校舎で一生懸命に勉強することを願っていると話しました。

その後で二つの小学校で選ばれた各学年の立派な生徒を表彰し、メダルをかけてあげました。左の写真はブレイクチエイ小学校の子どもたちです。

一番右の六年生の男の子はどちらかの足が義足です。でも、成績優秀でいろいろな行事のリーダーだそうです。どの子もお掃除やお手伝いを善くしてしかも成績優秀と話されました。（義足は地雷のためかと心配しましたが、病気が原因とのことでした。）



ダブル小学校の子どもたちです。

表彰者は両小学校とも女子が多かったですね。

その後で、子どもたちに文具のプレゼントをしました。

サッカーボールや絵本などは校長先生に渡

してみんなで使っても  
らうようにしました。  
プレゼントの後は歌  
の交換をしました。  
下の写真は1994  
年に建てた校舎の教室  
です。あちこちに穴が  
開いています。がまだ  
使っています。



炎天下の式典でしたので、のどが渇きました。出されたココナッツジュースがとて  
もおいしかったです。



その後は箸ピー大会です。子どもたちは一生懸命です。



最終競技者はノートを持っています。もう少しで勝敗が決まります。  
みんな必死で応援しています。



看板の隙間から見ている子どもがいました。



1994年建設校舎です。ボロボロです。でも使っています。



2016年建設校舎です。



新校舎の前で記念撮影をしました。



新校舎の教室内です。幼稚園として使っているのでしょうか？

## ツアー参加者の小学校訪問感想

円福友の会カンボジア支援ツアーに参加して

―新しい出会いと気づきに感謝します―

富沢進・富美子

今回のカンボジア支援ツアーにおいても山の感動をいただき、そして前回と同じように心を癒やされ帰国できましたこと嬉しく思っております。

藤本住職様、長野県倫理法人会の皆様、そしてツアーで一緒にいただいた皆様に厚く御礼を申し上げます。

以下、感想をつづってみました。

### ・各校の先生・生徒との交流のこと(5月15日)

ブレイクチエイ小学校におけるタプル小学校の先生・生徒達との合同交流会には、休校

日にも拘わらず、沢山の生徒をはじめとする関係者の方々が集まってくれ、あたたかく私達を出迎えてくれました。彼等との二年半ぶりの再会を果たすことができ、大変嬉しく思いました。同時に、彼等の私達に向けられたあたたかい眼差しから、彼等も私達との再会を心底喜んでいる様子が窺え、思わずほろつとしてしまいました。

交流プログラムの中に「立派な小学生の表彰式」がありました。立派とは、学業はもとより、校舎の清掃をはじめとする校内諸活動への積極性や家庭における家族(特に弟・妹)への面倒見の良さなどが評価の要素と聞き、先生方が生徒を公私にわたり、かくも詳しく把握していることに感心してしまいました。

箸ピー競争で、一生懸命賞品を得ようとチームワークを発揮して、真剣に取り組む様も微笑ましいものでした。次に、長野県倫理

法人会の皆様が、国際ボランティア活動の一環として、献身的に取り組まれ、その実現が具体化したドンソン小学校新校舎現場を訪問しました。

昔、先輩から「生きることははたらくこと、はたらくことは学ぶこと、学んだことから得られるものが能力、その能力が人生を耕す魔法の杖」と教わりました。学び舎をつくることはとても大切なことです。来年、校舎が無事竣工されますようお祈りしております。

これでエコ村のナチュラル小学校も入れると、交流小学校は4校に達します。今後とも、学校を通じて成長していく生徒達に会えることを楽しみにしています。

(次号に続きます)

## 2019カンボジア支援ツアー ツアー解団式 感想の一言録

カンボジア料理 Mahob にて

柳澤明様が編集してくださいました。一言録から旅行の様子を知っていただければありがたいです。

**狩野 土** 長野県倫理法人会以外の、皆さまと有意義な旅ができました。

(団長代行) 校舎建設の来年に向けて頑張ります。

**土屋 和子** 今回参加でき、交流とボランティアは誇りに思います。

**土屋正五郎** 妻と参加。

前回は参加できず、久しぶりの訪問で、今までを思い出しました。

新しい人たちと旅で出会い、今後の楽しみができました。

一校建設には、私としても何かやりたいと思います。

完成時には、また参加したい。

**田中 孝和** 記録係として、大変お世話になりました。

初めての経験で、いろいろな貢献は素晴らしい。昨夜は、ナイトマーケットのショッピング楽しく過ごしました。

皆さんとご一緒に素晴らしい、うれしい。数々の写真で、素晴らしい皆さんの顔が撮れましたので、写真を見て思い出してください。(写真のCD欲しいと、リクエストありました。)

**宮下 繁明** 一年前のプノンペンでは、バスの往復で大変だった。

今回はAIR利用で、観光もできてよかった。キムさん宅、キム奥さん宅を訪ねて、生活や暮らしを見られた。

有意義な4日間でした。

**鳥羽 高德** 人見知りな私を、仲良くしてくれてうれしい。

飲んで、食べて楽しい思い出。

次回も受け入れてください。参加したい。

**吉澤 広喜** 去年は、カンボジアに来られなかった。

今回初めての参加となった。

ボランティアは、ライオンズクラブの医療奉仕活動と違い、現地に入り個人宅の訪問が、何より良かった。

また来年、来たくなった

**福鹿 治美** 会計係として、主人と部屋で計算整理をしてみても、吉田恒昭、玲子夫妻がいかに大変だったのが分かった。

有意義だった。

毎回、卓球で体をきたえるので、機会がほしい。

(次号に続きます)

# おっしやんの修証義解説

## 第四章 発願利生

⑱ 菩提心を発すというは、己れ未だ度らざる前に一切

衆生を度さんと発願し営むなり、設い在家にもあれ、

設い出家にもあれ、或いは天上にもあれ、或いは人間

にもあれ、苦にありというとも楽にありというとも、早

く自未得度先度佗の心を発すべし。

## 18・世のため人のために

人は誰しも幸福でありたいと願っております。しかしもしも、他人はともかく自分だけは幸福でありたいと願っておるとしたら、その人は絶対に幸福にはなれません。争い、そねみ、憎しみ、といったすべてこの世の不幸のもととは、みな人間が自分の幸福だけを願うその利己心からおきるものだからであります。正しい信仰の生活とは、自分の幸福はさておいても、世のためにつくそうという仏心に生きることであって、僧俗を問わず、また社会的地位や、人生の運不運にかかわらず、私たちが、この仏心をおこしたそのときそこに本当の幸福があるのであります。その幸福とは、いつくしみあい、よろこびあい、感謝しあう、美しいみ仏の世界であります。今までの愛国心は利己主義独善の愛国心でありました。そこにまちがいがあったのであります。真の愛国心は、祖国を世界の円満和合と人類の福祉増進のために貢献することができます、立派な平和国家たらしめる愛国心でなければなりません。日本国民が祖国日本を愛する心は極めて大切であります。しかしその仰ぐ白地に赤き日の丸は、世界平和と人類福祉の栄光に高くひるがえらねばなりません。

# 敬愛信

## 高校卒業43周年同級会

初任の高遠高校のクラスの教え子が毎年泊りで同級会を開い

て来ています。遠く、千葉や愛知から来てくれます。今年嬉しうことがたくさんありました。

### 一・叙勲

田中均君が危険業務従事者叙



危険業務従事者叙勲

瑞宝双光章 防衛功勞

元2等陸尉

田中

均さん 61

伊那市黒瀬町上山田

高校卒業後、兄の背中を追い、同じ自衛官に。主に情報保全などを担当し、各地の災害現場へも赴いた。国民の生命と財産を守る任務をやり遂げ、「充実した36年間の自衛官人生だった」と振り返る。

初任地は北海道帯広市で、1994年に松本駐屯地へ転属した。長野五輪ではスキージャンプの女子滑降コースの整備も支援。災害派遣では2006年7月の関西帯広

の豪雨土砂災害や東日本大震災などに出勤した。東日本大震災では現地の災害本部と自衛隊派遣部隊の意思疎通を図る情報伝達などを担った。この世のものとは思えない現場の状況

だったが、悪態を物語る。愛蔵の知るには「名譽なことだが、聞いた。今後は後輩自衛隊員の後方支援をし、地区役員を地域への恩返しをしたい」と笑顔を見せた。(後編八十回)

### 情報保全担い現場へも

勲防衛功勞で瑞宝双光章を受章しました。

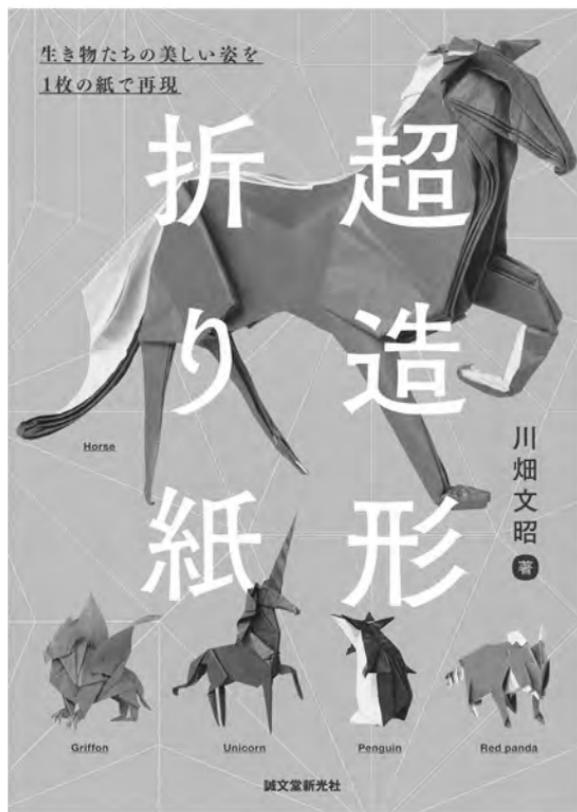
彼はいつも同級会開催の中心になってくれて、私を上諏訪駅に送ってくれた時は、列車が発車するまで見送ってくれました。「恩師に続いていたのだ」と言ってくれて、うれしかった。です。長野五輪のスキー競技の滑降コースの整備、東日本大震災の出動など、世のため人のために働いてくれて、それを国が認めてくれました。とっても嬉しいです。

### 二・超造形折紙

大学を卒業してトヨタ自動車に勤務した川畑文昭君は、不切

正方形一枚折りの折紙の日本の第一人者です。これまで「恐竜の折紙」などたくさんの本を出しています。同級会の日に「超

造形折紙」を出版したと言ってプレゼントしてくれました。すごいです。



### 三・支店長

柿木君は高校を卒業して、地元のスーパーに勤務しました。そして、遂に支店長まで上り詰めました。高卒の支店長は後にも先にも彼だけと行ってくれました。売り上げを八千万から三億五千万に伸ばしたと聞きました。とつても嬉しかったです。千葉や埼玉や愛知から来てくれた人、私を篠ノ井から諏訪まで送迎してくれた人、地元で頑張っている人、みんなありがとう。大好きです。

### あいさつ運動六周年

篠ノ井あいさつ運動は六周年

を迎えました。毎月一日の篠ノ井駅二階通路街頭行動には七〇名から一〇〇名の人が出て、通勤通学の皆さまに「おはようございます」と挨拶をかけています。交差点や小学校校門、稲荷山駅でも街頭行動に出ています。六月の第四日曜日の軽トラ市に合わせて行なったあいさつ運動いきいき行動日にはご来賓実行委員ポスター受章者の合計六六名の参加で、小学生が描いたポスターの優秀作品を表彰し、中央通りをパレードしました。支え合い、励まし合い、認め合うあいのまち篠ノ井が、あいさつ運動でますます発展しますように。

## 百名山ラベル

切り絵作家の柳沢京子先生と

のご縁で、池田町の福源酒造から販売される「百名山」のラベルを書かせていただきました。

七月販売です。お中元に使おうかと思っています。



感謝のお知らせ

○令和元年六月分  
(五月二十四日～六月二十日)

●SABA資金

(北海道)

(千葉県)

(埼玉県)

(長野県)

(岐阜県)

(新潟県)

●エコ村支援

(神奈川県)

(長野県)

様 様

●おもいやりの会

(北海道)

(長野県)

●ドンソン小学校校舎建設資金

(千葉県)

(埼玉県)

(長野県)

●カンボジア事件遺族お見舞金

(長野県)

ご協力ありがとうございました。

様 様

七月の法母会

二十八日(日)

午前八時半より

八月の参禅会

四日(日)

午前五時より

『円福』

令和元年7月号

第四六六号

定価一五〇円

発行日 令和元年7月10日

発行人 藤本光世

発行所 円福友の会

〒388-8005 長野市篠ノ井横田円福寺

TEL ☎ ☎ ☎ 二九二一〇三八一

FAX ☎ ☎ ☎ 二九三一九六二九

振替口座  
〇〇五二〇一七一六二五六

円福友の会・SABAスクール

愛の日の丸 SABA運動

---

カンボジア小学校校舎建設

---

カンボジア エコ村支援

---

タイ スラム街奨学生支援(教育里親)

---

大災害被災地支援

---

シャンティ国際ボランティア会協力

---

おもいやりの会(愛育園児童自立支援)

---

太平観音堂護持発展

---

円福友の会入会のすすめ

上記の協力金は 郵便振替 00520-7-16256

加入者 円福友の会 あてに御送金下さい

〒388-8005 長野市篠ノ井横田 円福寺内

TEL 026-292-0381

FAX 026-293-9629

<http://ryu-enpukuji.com/tomonokai/>

[enpuku2@janis.or.jp](mailto:enpuku2@janis.or.jp)